

# Cisco Business 220シリーズスイッチでのVLANの設定

## 目的

この記事では、Cisco Business 220シリーズスイッチで仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)を設定する方法について説明します。

## 概要

トラフィックとセキュリティの分割が優先されるシナリオでは、トラフィックの分離によってネットワークのセキュリティを強化するためにVLANを作成できます。VLANに属するユーザだけが、VLANのデータトラフィックにアクセスして操作できます。これは、デバイスのアップリンクを複数のサブネットが通過する必要があるシナリオでも必要です。

## 該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBS220シリーズ ([データシート](#)) | 2.0.0.17

## デフォルトのVLAN設定

工場出荷時のデフォルト設定を使用すると、スイッチは自動的にデフォルトVLANとしてVLAN 1を作成します。デフォルトのVLANを変更するには、次の手順に従います。

### 手順 1

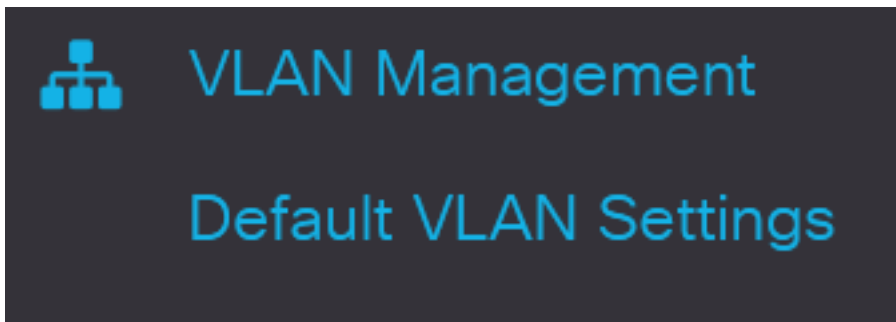
スイッチのWebユーザインターフェイス(UI)にログインします。



# Switch

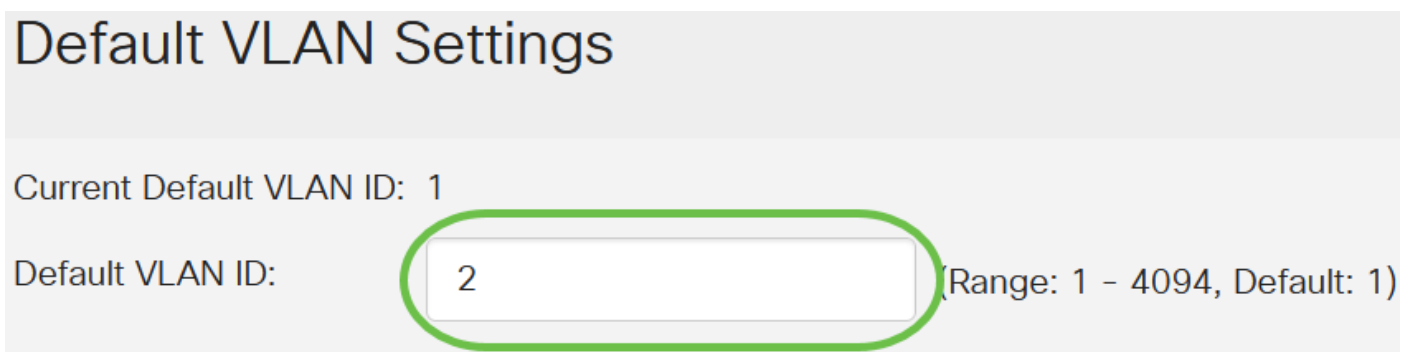
## 手順 2

[VLAN Management] > [Default VLAN Settings]を選択します。



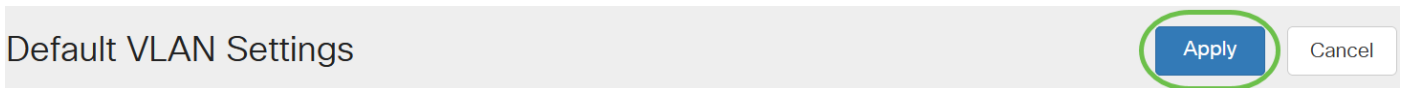
## 手順 3

[Default VLAN ID]フィールドに、デフォルトのVLAN IDを置き換える新しいVLAN IDを入力します。

A light gray form titled 'Default VLAN Settings'. It shows 'Current Default VLAN ID: 1' and 'Default VLAN ID: 2'. The input field for '2' is highlighted with a green oval. To the right of the field is the text '(Range: 1 - 4094, Default: 1)'.

## 手順 4

[Apply] をクリックします。

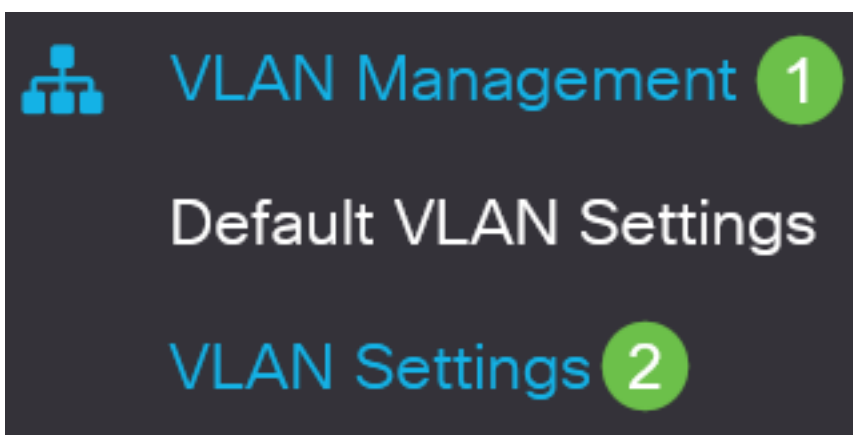
The bottom of the 'Default VLAN Settings' form, showing the 'Apply' button highlighted with a green oval and the 'Cancel' button to its right.

## VLAN設定

VLANを作成するには、次の手順を実行します。

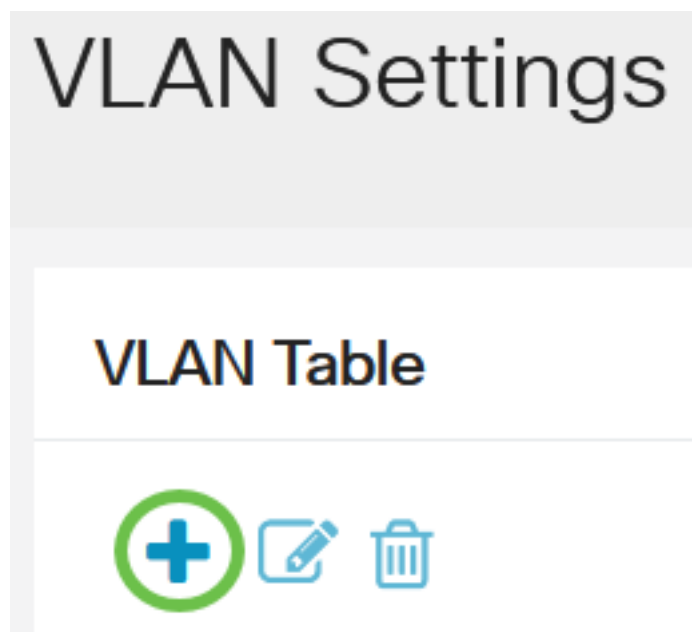
### 手順 1

Web UIにログインし、[VLAN Management] > [VLAN Settings]を選択します。



## 手順 2

VLANを追加するには、[+]アイコンをクリックします。[Add VLAN]ウィンドウが表示されます。



### 手順 3

単一のVLANを作成するには、[VLAN]ラジオボタンを選択し、VLAN IDを入力し、必要に応じてVLAN名。

### 手順 4

VLANの範囲を作成するには、[範囲]ラジオボタンをクリックし、[VLAN範囲]フィールドに[VLAN範囲 ( 範囲2 ~ 4094 )]を入力します。

### 手順 5

[Apply]をクリックし、設定を保存します。

# Add VLAN



VLAN

VLAN:  (Range: 2 - 4094)

VLAN Name:  (4/32 characters used)

Range

VLAN Range:  -  (Range: 2 - 4094)



Apply

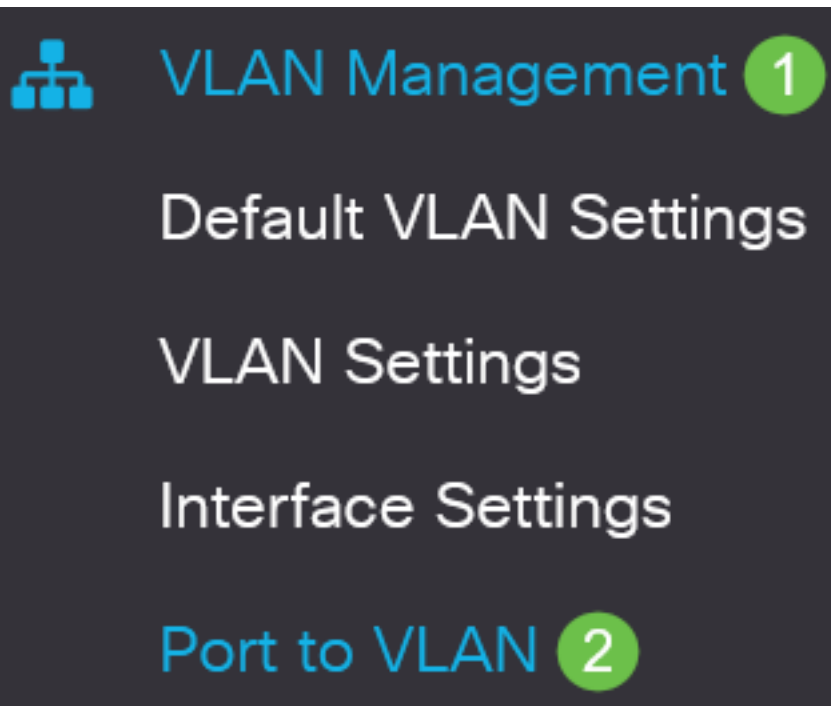
Close

## ポートからVLANへの設定

VLANを作成したら、必要なポートを適切なVLANに割り当てる必要があります。次の手順では、ポートをVLANに割り当てる方法について説明します。

### 手順 1

スイッチのWeb UIにログインし、[VLAN Management] > [Port to VLAN]を選択します。



### 手順 2

[フィルタ]フィールドで、[VLAN ID equals to]ドロップダウンリストから、適切なVLANを選択し

ます。

Filter: VLAN ID equals to

AND Interface Type equals to

Interface Name    Vlan Mo    5    nbe

### 手順 3

[Filter]フィールドの[Interface Type equals to]ドロップダウンリストから、VLANに追加するインターフェイスのタイプを選択します。使用可能なオプションは、ポート(LAG)またはLAG (リンク集約グループ)です。

Filter: VLAN ID equals to

AND Interface Type equals to

Interface Name    Vlan Mode    Member    VID

### 手順 4

[Go] をクリックします。

Filter: VLAN ID equals to

AND Interface Type equals to

### 手順 5

インターフェイスごとに、ドロップダウンメニューからメンバーシップタイプを選択します。使用可能なオプションは次のとおりです。

- Forbidden : インターフェイスは、GVRP登録からVLANに参加することはできません。ポートが他のVLANのメンバではない場合、ポートでこのオプションを有効にすると、ポートは内部VLAN 4095 ( 予約済みVID ) の一部になります。
- Excluded : インターフェイスは現在VLANのメンバではありません。これは、VLANが新しく作成されたときにすべてのポートとLAGのデフォルトです。
- Tagged : インターフェイスはVLANのタグ付きメンバーです。
- タグなし : インターフェイスはVLANのタグなしメンバーです。VLANのフレームは、タグなしでインターフェイスVLANに送信されます。

Interface Name	Vlan Mode	Membership	PVID
GE1	General	Tagged	<input type="checkbox"/>
GE2	Trunk	Excluded	<input type="checkbox"/>
GE3	Trunk	Forbidden	<input checked="" type="checkbox"/>
GE4	Trunk	Tagged	<input checked="" type="checkbox"/>
		Untagged	<input type="checkbox"/>
		Untagged	<input checked="" type="checkbox"/>

ドロップダウンメニューのオプションは、ポートの役割によって異なります。

#### 手順 6

( オプション ) ポートVLAN ID(PVID)は、インターフェイスのデフォルトVLANを示します。インターフェイスのPVIDをVLANのVIDに設定するには、このチェックボックスをオンにします。PVIDはポート単位の設定です。

Interface Name	Vlan Mode	Membership	PVID
GE1	General	Untagged	<input checked="" type="checkbox"/>

#### ステップ7

[Apply]をクリックして、選択したVLANとインターフェイスタイプの設定を保存します。

Port to VLAN

Apply

Cancel

## 結論

よくできました！これで、Cisco Business 220シリーズスイッチでVLANとポートをVLANに設定する手順が学習されました。

その他の設定については、『[Cisco Business 220シリーズスイッチアドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。